

横尾忠則 HANGA JUNGLE 展

血湧き肉躍る！



総天然色！
超版画！

① 《ターザンがやってくる(緑)》 1974年 シルクスクリーン 102.5×72.5cm 横尾忠則現代美術館蔵

Yokoo Tadanori Prints Retrospective — HANGA JUNGLE —

2017年 4月22日(土) - 6月18日(日)

町田市立国際版画美術館

Machida City Museum of Graphic Arts

縦横無尽な創作を続けるアーティスト・横尾忠則(1936年生まれ)は、1960年代から今日まで「HANGA」の制作に積極的に取り組んできました。本展は、「版画」の枠を超えた横尾の作品群を「HANGA」と称し、横尾の創作活動の全貌に迫ることを狙いとしています。様々な生命が共生するジャングルのように、約250点の多種多様なHANGAで展示室を埋め尽くします。直感や衝動を原動力とする横尾の創作姿勢の今日的意義と、現代版画の未来を探る大回顧展です。

■ 展覧会名 横尾忠則 HANGA JUNGLE 展

■ 会期 2017年4月22日(土)～6月18日(日)

■ 休館日 月曜日

■ 会場 町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

(Tel) 042-726-2771 / (Fax) 042-726-2840

問い合わせ: 町田市イベントダイヤル 042-724-5656

小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分

■ 主催 町田市立国際版画美術館、東京新聞

■ 観覧時間 [平日] 10:00～17:00 (入場は16:30まで)

[土・日・祝日] 10:00～17:30 (入場は17:00まで)

入場料

一般 800(600)円 / 大学・高校生・65歳以上 400(300)円
中学生以下は無料

* ()内は20名以上の団体料金 * 4月22日(展覧会初日)は無料

* 身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

本展の見どころ

■ HANGAの大回顧展

新作を含むほぼ全版画に相当する約230点と、これまでポスターと見なされてきた作品約20点を合わせ、約250点を展示。1960年代から最新作までのHANGAの全貌が明らかになる大回顧展!!

■ ここはジャングル!? 圧巻の展示空間

横尾のHANGAで展示室の壁を埋め尽くします。常に制作スタイルを変え続ける横尾のHANGAが並ぶと、そこは多種多様で複雑な生態系が形成されたHANGAのジャングルのよう。展示室が総天然色の空間に変わります!!

■ 「超」のつくHANGAが見られます

巨大なHANGA、絵画のようなHANGA、ポスターのようなHANGAを展示します。「版画」のイメージを変えてしまう「超版画」を一挙公開!!

展覧会概要

横尾忠則は1960年代にアンダーグラウンド演劇のポスターをエロスと妖しさがただよう総天然色のデザインで制作して以来、グラフィズムによって時代の流行をつくりだし、日本文化をリードするデザイナーとして注目を浴びました。それ以後「時の人」としてさまざまなメディアに取り上げられますが、その一方でHANGAの制作にも積極的に取り組んでいます。1982年に「画家宣言」を発した後もペインティングと併行して、版画の枠を超えた作品を制作し続けています。

本展覧会のキーワードは「HANGA」と「JUNGLE」。世界的に通用する「HANGA」という英単語の使用には、伝統的イメージが付随する「版画」とは違う、「超版画」であるという意味を含ませました。

また「JUNGLE」は、横尾の表現の多様性とジャングルのイメージを重ね合わせたキーワードです。直感と衝動によって森羅万象を描いた作品群は、生物の共生によって多様で複雑な生態系を形成する、原始のジャングルを想起させるでしょう。

本展はこれら2つのキーワードに沿って、横尾忠則のHANGA群をJUNGLEのイメージで壁面を埋め尽くすように展示、HANGAの群生による驚異の表現世界を出現させることを目指しています。

その空間からは、思考や論理を重視したモダニズムに抗う横尾の創作姿勢の今日的な意義や、現代版画の未来を予見することさえできることでしょう。

展覧会の構成

I 1968～70 制作プロセスの作品化 版と刷り



③ 《風景No.13 赤猫》 1969年 シルクスクリーン 90×90cm 個人蔵

② 《賣場C》 1969年 シルクスクリーン 90.8×67.8cm
東京都現代美術館蔵



Ⅱ 1973～74 楽園幻想と 千年王国

- ④ 《Blue Wonderland》 1973年
シルクスクリーン 241.8×292cm
町田市立国際版画美術館蔵

Ⅲ 1980～84

画家宣言

ドローイングからペインティングへ



- ⑤ 《No.6》 1980年 シルクスクリーン 77.3×56.1cm
横尾忠則現代美術館蔵

Ⅳ 1984～86 肉体と自然

- ⑥ 《Lisa-Lyon in Izukogen, March 23, 1984- I》 1986年 木版 100.7×80cm
横尾忠則現代美術館蔵

V 1986～91

名画の引用 私的絵画へ



⑦ 《予兆の刻 IV》 1989年
シルクスクリーン 112.0×71.0cm
町田市立国際版画美術館蔵



⑧ 《ピカピアアその愛と誠実 II》 1989年
シルクスクリーン 153.3×100.1cm
町田市立国際版画美術館蔵



⑨ 《今昔物語／お堀》 1991年
シルクスクリーン 119.5×80.1cm
町田市立国際版画美術館蔵



⑩ 《Shanghai Hi-Yoo Koo Soo》 2010年
シルクスクリーン 76.0×56.0cm
町田市立国際版画美術館蔵

VI 1990～現在

今昔物語

VII HANGA ポスター？ 版画？



⑪ 《TADANORI YOKOO》 1965年
シルクスクリーン 103.5×73.4cm
町田市立国際版画美術館蔵

関連イベントの情報は
当館ホームページに随時更新いたします。
横尾忠則本人が登場するイベントもあります。
乞うご期待ください！

<http://hanga-museum.jp/>

同時
開催

ミニ企画展 11人のポップ・アーティスト

4月12日(水)～6月18日(日) 常設展示室 入場無料

アンディ・ウォーホル、ロイ・リキテンスタイン、ジム・ダインら欧米のポップ・アーティスト11人による作品を紹介します。

内覧会のご案内

報道関係者の皆様へ

一般公開に先立ち、下記のとおり内覧会を開催いたします。報道関係の皆様のご出席をお待ちしております。

日時：2017年4月21日(金)

15:00から17:00まで(予定)

会場：町田市立国際版画美術館



広報画像・読者プレゼント用チケット

報道関係者の皆様へ

- ・展覧会広報用に本プレスリリース掲載の画像を用意しております。
ご利用いただける際は、上記問い合わせ先までご希望の画像番号をご連絡下さい。
- ・読者・視聴者プレゼント用などに招待券・割引券をご希望の場合はご相談下さい。

問い合わせ

町田市立国際版画美術館 〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

TEL: 042-726-2771(全般)/0860(学芸) Fax: 042-726-2840

担当学芸員 滝沢恭司・町村悠香 bunspo040@city.machida.tokyo.jp

美術館公式サイト

<http://hanga-museum.jp/>